

様式13

会派視察研修計画書

令和 4年 7月20日

碧南市議会議長 様

会派名 みらいクラブ
代表者名 鈴木 好り

下記のとおり、視察（研修）を計画したので届け出ます。

参加議員	鈴木みのり ・ 小池友妃子	
日時	令和 4年 8月 8日（月）～令和 4年 8月10日（水）	
視察先	①徳島県鳴門市 ②兵庫県神戸市	
研修内容	①フェーズフリーなまちづくり事業について ②がん対策推進条例について	
日程	(視察先到着時間・宿泊先名及び電話も記入) ①8/8 17時鳴門着 (NEXEL α 鳴門088-685-2277) 8/9 9時から鳴門市長表敬訪問 10-11時30分研修 午後から現地視察 ②8/9 神戸着 (KOKOホテル 078-391-8182) 8/10 神戸市役所視察	
交通手段	公共交通機関利用 乗降車駅名 ()	自家用車利用 _____ 台 所有者名 ()

(議会事務局記入)

旅費の額	(内 訳)
円	

会派視察研修報告書

令和 4年 8月17日

碧南市議会議長 様

会派名 みらいクラブ

代表者名 鈴木みのり

下記のとおり、視察（研修）を実施したので報告します。

なお、参加者議員 2名分の視察研修成果報告書を添付いたします。

参加議員	鈴木みのり・小池友妃子
日時	令和 4年 8月8日（月）～令和 4年 8月10日（水）
視察先	① 徳島県鳴門市 ② 兵庫県神戸市
研修内容	① フェーズフリーなまちづくりについて ② がん対策推進条例について
視察先面会者 又は講師名等	① 鳴門市役所 企画総務部戦略企画課 喜多課長 企画総務部特定事業推進課 櫻木課長 企画総務部危機管理課 前田課長 企業局水道事業課浄水場 長町課長 教育委員会学校教育課 梶原課長 ② 神戸市役所 健康局健康企画課 渡辺課長
備考	

※ 相手方から收受した資料の写しを添付してください。

視察研修成果報告書

令和 4 年 8 月 12日

議員氏名 鈴木みのり

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期 間 令和 4年 8月 8日（月）～令和 4年 8月 10日（水）
- 2 視察先 徳島県鳴門市・兵庫県神戸市
- 3 視察の種類 会派視察
- 4 視察の成果等

今回2年半ぶりの視察研修という事で、若干の緊張感と懐かしさを感じながら、鳴門市では「フェーズフリー」について、神戸市では「がん対策推進条例」について、しっかりと研修をさせて頂きました。まず、鳴門市の“フェーズフリー”については、当初予定外の市長自ら40分程ご一緒して頂き、フェーズフリー協会の佐藤代表とフェーズフリーに掛ける熱い思いをお聞かせいただきました（写真の右端が佐藤代表、右から3人目が泉市長）



フェーズフリーとは、簡単に言うと、日常と非日常の区別（フェーズ）を設けず（フリー）に、日常の普段使いの中に、非常時にも、そのままの状態を利用できたり、日常から非常時の被害想定を意識づけして行くと言う概念と理念であり、防災のために特別に何かを作ったり、用意をするわけでもなく、予算を掛ける必要

もない所に、取り込みやすさを感じました。例えば左の写真は、碧南市にも有るスケートボードパークですが、災害時にはここには、他にもバスケットコートやサイクリングステーション、



uzuhall（ウズホール）と言った施設が、ポートレース鳴門の資金で整備されていて、いざと言うときには避難施設になり、市民も普段から使用しているため、スムーズに利用できると考えられています。また、学校教育ではこのフェーズフリーの考え方を、各教科に組み込まれていて、例えば算数では、人が逃げる速さと、津波が押し寄せてくる速さから、何分後に追いつかれるか？などと言った問題を

先生方が考えて、楽しみながら、早く逃げないと間に合わないんだと、理解をさせるようにされていました。また、市全体は山が多く有り、今まではあまり市民の関心も無かったとの事でしたが、そこにもスポットをあて、ウォーキングコースにして、市民の健康志向に合わせて普段から歩いて頂き、いざと言うときには、そこを目指して逃げて頂こうというものでした。現在新庁舎を建設中でしたが、やはりフェーズフリーの理念を前面に取り入れて設計されているようで、ただ、先程も記載した通り、その為に予算を計上したりはしていないという事で、是非竣工の際には、もう一度訪問したいと強く思いました。

次の神戸市の「がん対策推進条例」についてですが、まず何より、当日（10日）は、神戸市のコロナ感染者数がおそらく過去最高になるであろうと言われていて、保健師の方も本当は視察対応をされる予定だったそうですが、急遽欠席され、事務方のみで、対応して頂き、本当に感謝感謝でした。そこでこの「がん対策推進条例」ですが、一番聞きたかった、何故執行部提案でなく、議員提出議案になったのか？という疑問はすぐに理解出来ました。全国的に公明党議員団の活動により、理念条例として成立しているようで、良く有る国の政策を実行するための根拠条例ではないため、この事によって何か具体的に政策が作られたわけでは無いようでした。しいて言う「神戸市がん対策推進条例懇話会」が専門家、学識経験者、保健医療関係者、患者団体等で構成されて、年二回程度開催され、意見聴取され市の政策に反映されているそうです。ちょうど視察をした前週にも開催され、今後の課題が3点ほど提議されたとの事でした。因みに1、検診の精度管理。2、就労支援の中で企業側の制度がまだ確立されていない。3、A.C.P（人生会議アドバンス・ケア・プランニング）の考え方の啓発。との事でした。

以上、今回の視察研修の報告としますが、やはり今後は、コロナに負けず、どんどん視察に今こそ行くべきと、改めて強く感じました。



会派視察研修報告書

令和4年8月17日

議員氏名 小池友妃子

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期 間 令和4年8月8日（月）～令和4年8月10日（水）
- 2 視察先 徳島県鳴門市 ・ 兵庫県神戸市
- 3 視察の種類 会派（みらいクラブ）視察
- 4 視察の成果等

「フェーズフリーなまちづくりについて」（徳島県鳴門市）

◎フェーズフリーとは→

平常時と災害時という社会のフェーズ(時期、状態)を取り払い、普段利用している商品やサービスが災害時に適切に使えるようにする価値を表した言葉。

①フェーズフリーを取り入れるきっかけ

平成23年度 「鳴門市地震津波対策推進計画」を策定

平成24年度 徳島県が発表した同地震の津波の浸水深・浸水域がこれまでの想定を遙かに超える深刻なものであることが分かる。

平成27年度 鳴門市主催地域活性化のアイデアを競う「なるとビジネスプランコンテスト」の実施に当たり、（一社）フェーズフリー協会代表理事佐藤氏の協力を頂き、市の施策へフェーズフリーを反映していく方向へ進み出す。

②市民の認知と、今後のフェーズフリーの展開について

- 広報なるとを使って、「フェーズフリーの考え方」「フェーズフリー協会佐藤代表理事と鳴門高校生と泉市長の座談会」を掲載
- 生涯学習まちづくり出前講座
- 市総合防災訓練
- 鳴門市地域防災計画
- 鳴門市新庁舎建設基本計画
- （仮称）大麻町総合防災センター建設 等

③新庁舎での取り組みについて

2026年完成予定の新庁舎では、主なフェーズフリーの概念を4つ取り入れて進めて行く予定。

- ア) わかりやすく安全で利用しやすい動線計画
- イ) 均整な構造グリッドと明快な配置
- ウ) 環境制御機能と防災機能
- エ) まちと庁舎をつなぐ広場空間の創出

現庁舎は、耐震性の不足により、災害時において防災拠点施設として機能しなくなる可能性があるだけでなく、バリアフリー対応への不足といった問題も抱えているということで建替えを決意し、フェーズフリーの概念を取り入れて建設されていく予定。

④道の駅「くるくるなると」での取り組みについて(現地視察)

2022年4月29日にオープンした道の駅「ぐるぐるなると」は、「食のテーマパーク」として、交流人口拡大の拠点である。また、地域商社機能を有し、地場産品の販路拡大等、産業振興の拠点にもなっている。「屋外交流広場」や「子どもの遊び場」等の整備による多世代・地域間交流の促進、「フェーズフリー」の考えを参考にした防災機能など、多様な機能を整備されていた。

●主なフェーズフリー機能

- ア) 施設前面をガラス張り
 - 日常時⇒ランニングコストの低減と快適性と開放感の向上
 - 非常時⇒雨雷等の気象状況の早期察知が可能
- イ) 施設屋上における子どもの遊び場、見晴らしデッキ、ジップライン
 - 日常時⇒憩いの場や交流機能
 - アクティビティ機能の付与による集客コンテンツ
 - 非常時⇒津波の一時避難所
- ウ) 着脱が容易な天井材・点検口
 - 日常時⇒メンテナンスしやすい仕様
 - 非常時⇒設備の損傷具合の状況把握を通じた被害の「みえる化」
- エ) 渦潮滑り台、人工芝のスロープ
 - 日常時⇒渦潮滑り台、人工芝のスロープ
 - 非常時⇒避難導線及び救援隊(車両)の動線
- オ) バックヤード・倉庫
 - 日常時⇒商品の保管場所
 - 非常時⇒避難者への食糧供給

⑤なるとフェーズフリーアイデアコンテストについて

鳴門市では、例年開催しているBPCの特別企画として、フェーズフリーという理念を取り入れた「モノ」や「コト」に関する「なるとフェーズフリーアイデアコンテスト2020」を開催し、「常活性」、「日常性」、「直観性」、「触発性」、「普及性」などのフェーズフリーの基本原則に係る視点でコンテストを行い、市民にフェーズフリーの理念を伝えている。

⑥浄水場でのフェーズフリーの取り組みについて

令和8年度に「鳴門市・北島町共同浄水場」が完成予定。そこにもフェーズフリー基本方針として4つのコンセプトを取り入れ、脆弱性を少しでも小さくし、災害を起こさせないことを現在検討しながら進めている。

⑦UZU PARK（現地視察）

ウズホール⇒白と紺の壁のラインがある。これは、津波が来たらここまで浸水するので、この線より上に避難して下さいねというサイン。またボルタリングの下には、沢山のマットレスもあり、これは避難所となった時のベッドにもなる。電気装置関係は1階ではなく2階にある等、様々なフェーズフリー機能がある。

サイクルステーション⇒災害時には避難所となり、施設内のコインシャワーは災害時には、無料で使えるようにもなる等他にも災害時に役立つ機能が備わっている。

このほかにもUZUPARK内には、様々なフェーズフリーの概念を取り入れたつくりになっているものが多数ある。

⑧学校教育におけるフェーズフリー

平成30年5月 第12回鳴門市学校防災推進会議で、フェーズフリーの説明を行う。

令和2年1月 学校防災推進会議第3回実務者部会「フェーズフリー」の具体的な導入について研修

令和2年1月末 第15回鳴門市防災推進会議で、「フェーズフリー」の学校への導入の理解と協力を求める。また「鳴門市学校防災推進計画」を改訂し、計画に位置づける。

令和2年度 年度内に、市内全幼稚園・小中学校へ訪問し、全教職員を対象としたフェーズフリー研修を実施。

●これまでの教育委員会のフェーズフリー取組の成果と課題

成果⇒学校教育でフェーズフリーへの理解が進んだり、教育課程にフェーズフリーの日を毎月1日組み込むことで、学校現場の意識を高めることに繋がった。

課題⇒学校教育で実践の積み重ねや教職員や子どもへの浸透。

●令和4年度フェーズフリーの浸透に向けて

フェーズフリーの新しいアイデアの募集・共有・実践を積み重ねることと、フェーズフリーガイドブックを見直し日常から防災意識を自然に高めるようにしていく。

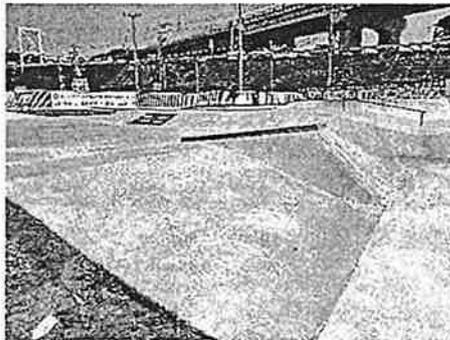
【視察を終えて】

今回泉市長からも、フェーズフリーの概念を市政に取り入れ始めてからの7年間の歩みをお聞きすることもできました。また、まちづくりアドバイザーである佐藤氏も終日ご同行頂き、非常に丁寧にご教示頂きました。

フェーズフリーの概念を取り入れることで、限られた予算でも、福祉や教育などの政策に注力すると同時に災害面でも対応できてきます。このことは、より日々の生活を向上させながら、市民の命を守ることができてくることとなるのです。非常に大切なことであることを改めて現場を見せて頂くことで感じる事ができました。今後、碧南市の市政運営に是非取り組んでいただきたいと強く思っています。



鳴門市長・フェーズフリー協会代表理事と



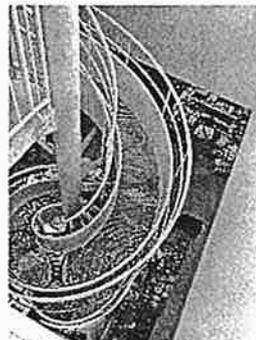
UZUPARK



シャワールーム



道の駅「くるくるなると」



渦潮滑り台



教育委員会での学び

「がん対策推進条例について」（兵庫県神戸市）

①「神戸市がん対策推進条例」制定の経緯

- 平成25年10月 議員と行政の勉強会を開始
11月 議員より医師会等の関係団体へ説明
平成26年 2月 本会議議案提案
3月 本会議議決
4月 条例施行

②神戸市がん対策推進懇話会について

平成26年5月にがんの専門家、学識経験者、保健医療関係者、患者団体等で構成した懇話会を設置。この懇話会では、がんの在り方などについて意見を聴取し、市の施策に反映。年1～2会開催。

③議会への報告

条例内に議会への報告項目を記載し、市の取組みや状況をまとめた報告書を作成し、毎年9月の市会において報告。

④条例制定後の主な取組み

- ・受動喫煙防止策
- ・がんに関する教育の推進
- ・がん検診の受診率向上の取組み
- ・がん患者等支援の拡充

⑤がん患者への支援

- ・がん相談支援センターでの相談対応（市内6カ所、内市民病院2カ所）
- ・がん患者アピアランスサポート事業
- ・若年者の在宅ターミナルケア支援事業
- ・妊よう性温存治療に係わる助成事業（兵庫県事業）
- ・骨髄等ドナー支援事業
- ・「KOBEGANガイド」の作成

【視察を終えて】

議員提出の理念条例で作成したがん対策推進条例。制定後懇話会を定期開催したり、条例改正を行い、がん相談支援センターにおける就労相談や企業及び市民向けの就労支援セミナーを開催されているところは今後碧南市でも取り入れていきたいことでもあった。また「KOBEGANガイド」は非常に分かりやすくまとまっているので、このようなガイドを碧南市版で作成することも非常に大切な事ではないかと感じました。

